

# 月刊 いっぽ

vol. 21

2017年12月号

denken

12月（日）直  
泉田デンケン  
高伸

## 特集

今月号は「第1回関西教育ITソリューションEXPO」セミナー編を特集します。

●3日間で、合計38本のセミナーが開催  
その中の「教育支援、授業支援の今後の動向」をテーマにした、6本のセミナーを受講してきました。

各セミナーの受講内容を基に教育ICT化に向けた今後の動向と展開について紹介します。

### ①☆文部科学省「プログラミング教育の今後の動向」

#### 指導者育成

教員、大学生、エンジニア等様々な分野から指導者を育成

#### 教材開発

児童生徒の学習意欲の向上に繋がる教材の開発  
(調査結果：ロボット教材にすると学習意欲向上)

### ②☆総務省「スマートスクールプラットフォーム実証事業」

児童生徒や教職員が教室、家庭等で授業や自己学習に利用する「授業・学習系システム」と教職員が職員室等で出欠管理や成績評価等に利用する「校務系システム」との間の安全かつ効率的な情報連携と、当該連携により生成されるデータの効果的活用を実現するシステムについての実証を行うもの。

※平成29年度7～8月の公募により全国で5地域を実証地域候補に決定。

#### まとめ

※教育ICT化に向けたインフラ整備が整い、教材やツールが充実している中で、それを使いこなせる指導者が少ないのが現状です。今後は指導者育成や確保にも力を入れていく傾向にあるので注視していきたいですね。

ーメモー

「第1回関西教育ITソリューションEXPO」  
11月15日（水）～17日（金）

関西では初開催となる教育ITソリューションEXPOですが、今回は300社が出展していました。セミナー会場においては、教育ICT化に向けたインフラの整備に関する実際の事例、2020年に初等教育で必修化されるプログラミング教育への動向について発表されていました。

出展ブースにおいては、浸透しつつあるプログラミング教育に対する教材やツールのラインナップが充実していました。

③☆【ICTを「当たり前」に無造作に】  
～教育ICT導入事例と活用方法～

#### 導入事例

##### (1)ロビーに電子黒板を設置

⇒講演された自治体では国際協力都市であるニュージーランドの学校とスカイプで繋ぎ、日常的に国際化とコミュニケーション能力を向上させている。(小1～中3まで毎日英語学習を行っている)

##### (2)モデル校の全教室に電子黒板設置

⇒シェア端末にすると、使わない先生も出てきたので、全教室に設置。これにより、ほとんどの先生が電子黒板を活用し授業を行うようになった。

##### (3)モデル校の生徒一人に対しタブレット1台設置

⇒タブレットを使用することにより授業の効率化、生徒同士のコミュニケーション、発表の機会の増加に繋がった。

(4)講演された自治体では、市内の小中学校全児童生徒の学力・体力情報を管理し、学力向上を図っている。成績を見える化することにより、適切なクラス編成が行える。さらには先生方が授業をする上で苦手教科・得意教科も把握できるので、フォローができる。その結果、児童生徒の学力の底上げに繋がっている。